

ON YOUR SIDE REPORT

京都中央信用金庫の現況

2016年度上半期(平成28年4月1日から9月30日)における経営情報を開示いたします

ON YOUR SIDE REPORT 2016.9



会長
布垣 豊



理事長
白波瀬 誠

ごあいさつ

平素は京都中央信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
ございます。

この度、当金庫の経営内容や事業活動をより一層ご理解いただく
ため、平成28年度上半期のディスクロージャー誌を作成いたしました。
ご高覧いただければ幸いに存じます。

当金庫の平成28年9月期の業績は、みなさまのお蔭をもちまして、
預金積金が4兆4,891億円、貸出金が2兆4,127億円を超え、当期
純利益61億円と順調に推移することができました。

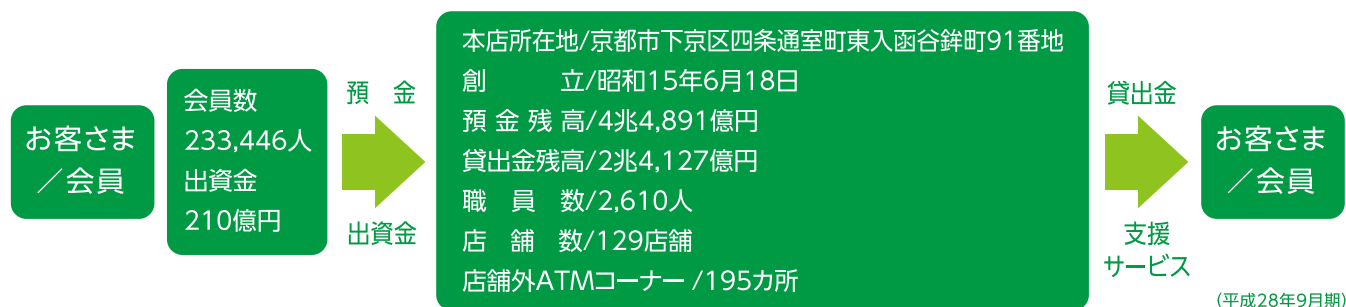
店舗計画ではお客さまの利便性向上に努め、平成29年3月の完成
に向けて寺田支店の新築建替えを進めており、129カ店の店舗・195
カ所の店舗外ATMコーナーにより、ATMは合計685台となりました。
ネットワークを活かし、近くて便利な金融機関を目指してさらなる充実
を図ってまいります。

今後ともみなさまの繁栄のためにお役に立つ所存でございます
ので、変わらぬご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

会 長 布 垣 豊
理事長 白波瀬 誠

京都中央信用金庫のプロフィール



当金庫は、京都市および京都府・滋賀県・大阪府・奈良県の一部を営業地区として、地域の中小企業や個人のみなさまの繁栄を共通理念に経営する協同組織の金融機関です。

地域のお客さまからお預かりしたご預金は、地域経済や事業の継続的な発展のために、ベンチャー企業を含む資金を必要とされているお客さまにご融資しています。また、広範な店舗網を活かして地域に密着した強いネットワークを形成し、お客さまのご要望に沿った商品・サービスを提供して、より良い暮らしのためのお手伝いをしています。さらに、国際文化観光都市京都をはじめとして地域の自然・景観・伝統文化等を守り伝えるための人材の育成や支援活動にも積極的に取り組み、金融機能だけでなく多方面から地域の発展に貢献しています。

TOPICS

店舗ネットワークがますます充実し、さらに近くて便利な金融機関へ

平成28年度は、平成29年3月中旬に「寺田支店」の新築建替えを予定しています。

店舗外ATMについては、4月に「ニトリモール枚方出張所」、6月に「小倉町西浦出張所」を新設しました。

当金庫の店舗ネットワークは京都府117店舗、滋賀県6店舗、大阪府4店舗、奈良県2店舗の合計129店舗となっており、ATMネットワークは店舗内129カ所437台、店舗外195カ所248台の合計324カ所685台(平成28年9月末現在)となりました。



お客さまのニーズにお応えするさまざまなサービス・取組みを実施

■ 完全非対面型カードローン

『京都中信「WEBカードローン」』取扱開始

当金庫にキャッシュカード発行済の普通預金口座を開設されているお客さまであれば、窓口にご来店いただくことなく、当金庫ホームページから24時間いつでもお申込みいただけます。

■ 海外ビジネスを積極的にサポート

当金庫ではお客さまの海外ビジネス展開を支援し、海外ビジネスセミナー・貿易投資相談会を開催するとともに、海外銀行・リース会社・損害保険会社・警備保障会社などと幅広く業務提携しています。平成28年度は、6月にKEBハナ銀行(韓国)と業務提携協定を締結、9月には独立行政法人 国際協力機構(JICA)、ならびにメキシコ合衆国の州政府および地場金融機関と業務提携しました。

■ 無担保住宅プラン

『NEWラッキーすまいる』取扱開始

「住宅購入」「リフォーム」「住宅ローンの借換」など住まいのあらゆるニーズに対応した商品です。担保設定不要のため、担保設定にかかる手続きや費用負担をいただくことなくご利用いただけます。

■ ～全国の信用金庫で初の受賞～

「UCDAアワード2016(金融分野)」を受賞

当金庫の住宅ローン借入申込書のわかりやすさ、記入しやすさが高く評価され、一般社団法人 ユニバーサルコミュニケーション デザイン協会が主催する「UCDAアワード2016」の金融分野において、全国の信用金庫で初めて「UCDAアワード2016」を受賞しました。

商品のご利用に際してのご留意いただく事項

1. 預金・ローンなどの商品につきましては、金利変動ルールなどそれぞれの商品の特色を窓口でお尋ねいただくなど、よくご確認のうえ、ご利用ください。
2. ローンのご返済につきましては、ご契約上の規定、ご返済方法(返済日、返済金額など)、ご利用限度額、現在のご利用額などにご留意ください。
3. 各商品紹介については、平成28年9月末現在の内容であり、各商品のご利用時点での詳細につきましては、窓口までお問い合わせいただきますよう、よろしくお願いいたします。
4. ローンのお申込に際しましては、当金庫所定の審査をさせていただきます。審査結果によってはご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

地域社会の発展のために

中信ビジネスフェア2016 第28回大商談会

ビジネス情報の提供、異業種交流、ビジネスマッチングを目的とするサークル「中信サクセスクラブ」では、平成元年に発足して以来、初年度より異業種商品技術展示交流会として、毎年「大商談会」を開催しています。平成17年からは、複合イベント「中信ビジネスフェア」へとグレードアップし、2日間にわたって開催しています。

平成28年度は「地方創生」をテーマに、企業支援を通じた地域の活性化に取り組む自治体や支援機関に出展いただき、特設ブースでの地元企業や産業の紹介、マッチング機会の創出に取り組みました。1万人を超える来場者で、会場は大盛況でした。



中信学生デザインコンテスト



海外進出セミナー



マッチングブース

地方創生・地域密着型金融

当金庫は、地域社会の発展には地元中小企業の活性化が不可欠と認識し、「地方創生」を担う産・官・学・金・労・言（産＝産業界、官＝行政、学＝大学等、金＝地域金融機関、労＝労働組合等、言＝報道機関）の協力体制の一員として、連携を強化しながら地方公共団体による「地方版総合戦略」の策定および推進を支援しています。

その一環として、企業の創業期から成長、安定、低迷および再生に至るまでの各ステージにおけるさまざまな問題・課題解決のお手伝いのため、「営業支援サポートチーム」を創設し、伴走支援に取り組んでいます。特に創業・第二創業支援については、創業支援融資「京都中信 創業スタートダッシュ」や、日本政策金融公庫との協調融資「スタートダッシュ・ツイン」等により、医療・介護を含むあらゆる業種の創業支援を行っています。また、平成28年度地域創業促進支援事業として第二創業スクールを主催するほか、補助金や医療・介護等についての各種セミナーを開催しています。平成28年6月には、当金庫の地方創生支援への積極的な取り組みに対して、近畿経済産業局より感謝状を拝受しました。

今後も地域経済の発展に資するため、金融仲介機能を発揮し、事業性評価ならびに顧客企業のライフステージにあった支援体制を充実させるとともに、ビジネスマッチング商談の機会の提供、知財マッチングや各種認定制度の伴走支援等を通じて、お取引先の企業価値の向上や成長のお手伝いなど、さまざまなご要望にお応えしてまいります。



近畿経済産業局より感謝状を拝受

CSRへの取り組み

人材育成

■ (公財) 中信育英会〈昭和56年より〉

当金庫創立40周年を記念して設立し、現在の奨学生は98名。これまで649名の卒業生が巣立ち、さまざまな方面で活躍しています。



■ 中信杯全京都学童軟式野球選手権大会協賛〈平成元年より〉

京都府下の小学生が友情と夢を胸に、真夏のグラウンドで熱戦をくりひろげる「中信杯全京都学童軟式野球選手権大会」とともに、平成19年からは春季大会にも協賛。スポーツを通じて、明日を担う小学生の育成に協力しています。



人にやさしく

■ 全店舗に福祉関連機器設置、視覚障がい者対応ATMの設置

全店舗に、来客用車椅子、耳マーク表示板、簡易筆談器、振動式呼び出し器、コミュニケーションボード、助聴器、AED(自動体外式除細動器)を設置しています。

また、店舗内・店舗外すべてのATMコーナーに、視覚障がいをお持ちのお客さまにもご利用いただきやすいATMを設置しており、ほかにも歩行が困難な方が利用できる優先駐車場の設置、点字ブロックの敷設や音声誘導システムを順次導入しています。

さらに、伝票などのユニバーサルデザイン化を進めるとともにチラシ・ポスター等印刷物へはFAX番号を掲載するなど、すべての人にやさしく心が通じ合えることを目指した店舗づくりに取り組んでいます。



全店舗に設置している福祉関連機器

文化の継承

■ 中信宵山狂言会〈平成元年より〉

当金庫は企業町衆として祇園祭のムードを側面から盛り上げるため、祇園祭宵山の時期に合わせて、平成元年より本店ロビーでコンサート等を開催、平成8年からは、伝統芸能・狂言への理解を深めていただくために、本店ロビーで茂山一門による「中信宵山狂言会」を開催しています。平成28年は「昆布売(こぶうり)」、「梟(ふくろう)」を多くのお客さまに楽しもいただきました。



■ (公財) 中信美術奨励基金〈昭和62年より〉

当金庫預金量1兆円達成を記念して設立。京都を基盤に活動する芸術家3名に、毎年「京都美術文化賞」(賞牌と賞金200万円)を贈呈し、受賞記念展を開催。

第29回の受賞者は森田りえ子(日本画)、松井利夫(陶芸)、ヤノベケンジ(現代美術)。受賞記念展は、京都文化博物館で平成29年1月13日～22日に開催します。



社会福祉活動

■ 善意金の寄託 数々の清掃活動に参加

昭和48年より「中信チャリティーオープンゴルフ大会」を開催し、参加していただいたお客さまから寄せられた善意金を公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団に寄託しています。

また、地域の環境保全・啓発活動推進の一環として、創立75周年を機に全店舗の周辺地域を清掃する「ゴミゼロの日」の取り組みを開始し、継続実施しています。「琵琶湖を美しくする運動」等、地域の清掃活動にも参加しています。



預金・貸出金の状況

預金積金については、年金受給口座の獲得を中心とした個人普通預金と大口定期預金が増加した結果、平成28年9月期の残高は、前年同期比1,058億円増加し、4兆4,891億円となりました。

また、貸出金については、地元中小企業者や一般個人のみなさまへの円滑な資金供給に積極的に努めた結果、前年同期比907億円増加し、2兆4,127億円となりました。

(単位：百万円)

	平成27年9月期	平成28年9月期	増減
預 金 積 金 残 高	4,383,288	4,489,105	105,817
貸 出 金 残 高	2,321,977	2,412,764	90,786

●貸出金の業種別内訳

(単位：百万円)

	平成27年9月期		平成28年9月期	
	残 高	構成比	残 高	構成比
製 造 業	128,236	5.52%	125,077	5.18%
農 業、林 業	594	0.02%	609	0.02%
鉱業、採石業、砂利採取業	1,191	0.05%	976	0.04%
建 設 業	95,697	4.12%	95,819	3.97%
電気・ガス・熱供給・水道業	256	0.01%	330	0.01%
情 報 通 信 業	4,523	0.19%	4,256	0.17%
運 輸 業、郵 便 業	22,442	0.96%	23,880	0.98%
卸 売 業	79,946	3.44%	76,884	3.18%
小 売 業	50,070	2.15%	50,702	2.10%
金 融 業、保 険 業	7,065	0.30%	67,035	2.77%
不 動 産 業	479,301	20.64%	487,328	20.19%
物 品 賃 貸 業	6,294	0.27%	5,298	0.21%
学術研究、専門・技術サービス業	8,092	0.34%	8,265	0.34%
宿 泊 業	12,669	0.54%	12,680	0.52%
飲 食 業	25,390	1.09%	25,220	1.04%
生活関連サービス業、娯楽業	37,329	1.60%	40,797	1.69%
教 育、学 習 支 援 業	13,949	0.60%	10,710	0.44%
医 療、福 祉	52,681	2.26%	56,238	2.33%
そ の 他 の サ ー ビ ス	39,040	1.68%	41,362	1.71%
小 計	1,064,773	45.85%	1,133,476	46.97%
地 方 公 共 団 体	128,010	5.51%	117,448	4.86%
個人(住宅・消費・納税資金等)	1,129,193	48.63%	1,161,839	48.15%
合 計	2,321,977	100.00%	2,412,764	100.00%

(注) 1. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

2. 国外向けの貸出については、国内向けの貸出と同様に区分し、該当する業種に含めております。

●中小企業等に対する貸出金

(単位：百万円)

	平成27年9月期	平成28年9月期	増減
貸 出 金 残 高	2,321,977	2,412,764	90,786
うち中小企業等貸出金残高	2,170,235	2,207,881	37,645

(注) 中小企業等とは、資本金の額又は出資の総額が3億円(ただし、卸売業は1億円、サービス業は5千万円、小売業は5千万円)以下の法人たる事業者又は常用する従業員の数が300人(ただし、卸売業は100人、サービス業は100人、小売業は50人)以下の事業者及び個人です。

貸借対照表

(単位：百万円)

(資産の部)	平成27年9月30日現在	平成28年9月30日現在	増減
現金・預け金	945,357	1,005,774	60,417
コールローン	622	532	△ 89
買入金銭債権	1,710	529	△ 1,180
金銭の信託	1,979	1,977	△ 1
商品有価証券	1,188	1,458	270
有価証券	1,551,945	1,609,598	57,652
貸出金	2,321,977	2,412,764	90,786
外国為替	1,195	1,224	29
その他資産	25,325	25,710	385
有形固定資産	53,506	53,130	△ 376
無形固定資産	3,423	3,033	△ 390
繰延税金資産	4,067	－	△ 4,067
債務保証見返	6,571	8,444	1,873
貸倒引当金 (うち個別貸倒引当金)	△ 14,376 (△ 11,135)	△ 13,827 (△ 9,630)	548 (1,505)
資産の部合計	4,904,493	5,110,351	205,857

(単位：百万円)

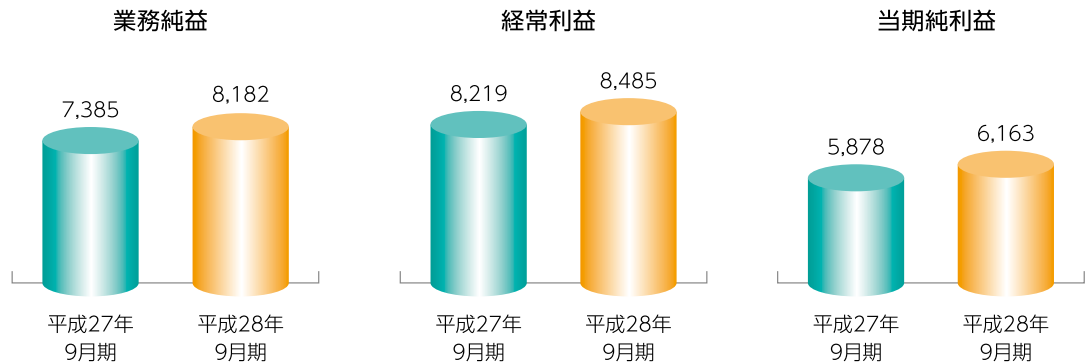
(負債の部)	平成27年9月30日現在	平成28年9月30日現在	増減
預金積金	4,383,288	4,489,105	105,817
借入金	172,100	244,500	72,400
コールマネー	59,145	66,998	7,852
外国為替	62	3	△ 58
その他負債	17,358	14,333	△ 3,025
賞与引当金	742	723	△ 19
退職給付引当金	11,702	11,322	△ 380
役員退職慰労引当金	848	956	108
預金払戻損失引当金	229	263	33
偶発損失引当金	200	126	△ 73
懸賞金支払引当金	198	119	△ 79
繰延税金負債	－	824	824
再評価に係る繰延税金負債	4,853	4,853	△ 0
債務保証	6,571	8,444	1,873
負債の部合計	4,657,302	4,842,575	185,273
(純資産の部)			
出資金	21,280	21,053	△ 226
利益剰余金	200,359	210,100	9,741
会員勘定合計	221,640	231,154	9,514
その他有価証券評価差額金	17,526	28,637	11,111
繰延ヘッジ損益	11	△ 28	△ 40
土地再評価差額金	8,013	8,012	△ 0
評価・換算差額等合計	25,551	36,621	11,070
純資産の部合計	247,191	267,776	20,584
負債及び純資産の部合計	4,904,493	5,110,351	205,857

損益の状況

平成28年9月期の業務純益は、貸出金や市場運用の利回りの低下により資金収支が減少したものの、その他業務収益の増加等により、前年同期比7億円増加し、81億円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比2億円増加し、84億円となり、当期純利益は前年同期比2億円増加し、61億円となりました。

(単位：百万円)



損益計算書

(単位：百万円)

	平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	増減
経 常 収 益	34,534	36,236	1,702
資金運用収益	26,842	25,456	△ 1,385
うち貸出金利息	18,293	17,684	△ 609
うち有価証券利息配当金	6,402	5,725	△ 676
役務取引等収益	3,299	3,304	4
その他業務収益	2,633	6,421	3,787
その他経常収益	1,758	1,053	△ 704
経 常 費 用	26,314	27,751	1,437
資金調達費用	2,665	2,667	1
うち預金利息	2,212	2,130	△ 82
役務取引等費用	2,817	2,975	157
その他業務費用	1,609	2,995	1,386
経 費	18,396	18,512	116
その他経常費用	825	600	△ 225
経 常 利 益	8,219	8,485	265
特 別 利 益	0	0	0
特 別 損 失	51	83	31
税引前当期純利益	8,168	8,401	233
法人税、住民税及び事業税	2,263	2,031	△ 232
法人税等調整額	25	206	180
法人税等合計	2,289	2,238	△ 51
当 期 純 利 益	5,878	6,163	284

有価証券の状況

●売買目的有価証券

(単位：百万円)

	平成27年9月期	平成28年9月期	増減
当期損益に含まれた評価差額	9	21	12

●満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種類	平成27年9月期			平成28年9月期		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	10,000	10,004	4	10,000	10,036	36
	地 方 債	6,638	6,837	199	5,957	6,097	139
	社 債	21,447	22,637	1,189	18,308	19,301	993
	そ の 他	1,274	1,287	12	1,052	1,056	3
	小 計	39,360	40,766	1,406	35,318	36,491	1,173
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	12,500	12,499	△ 0	－	－	－
	地 方 債	2,442	2,437	△ 5	－	－	－
	社 債	－	－	－	－	－	－
	そ の 他	－	－	－	－	－	－
	小 計	14,942	14,937	△ 5	－	－	－
合 計		54,303	55,704	1,400	35,318	36,491	1,173

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

●子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの 該当ありません。

●その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	平成27年9月期			平成28年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	27,308	15,275	12,032	24,507	12,788	11,719
	債券	1,162,128	1,149,425	12,703	1,179,641	1,149,858	29,782
	うち国債	585,428	579,076	6,352	400,721	388,931	11,790
	うち地方債	176,784	174,202	2,582	296,448	287,370	9,078
	うち社債	399,915	396,146	3,768	482,471	473,556	8,914
	その他	120,725	118,572	2,153	168,069	164,239	3,830
	小 計	1,310,162	1,283,273	26,889	1,372,219	1,326,885	45,333
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	6,672	7,400	△ 728	13,696	15,045	△ 1,349
	債券	112,185	112,538	△ 353	104,845	107,435	△ 2,590
	うち国債	6,325	6,368	△ 42	67,997	69,771	△ 1,773
	うち地方債	45,276	45,441	△ 165	9,695	9,987	△ 292
	うち社債	60,583	60,728	△ 145	27,151	27,676	△ 524
	その他	64,359	66,084	△ 1,725	79,251	81,167	△ 1,915
	小 計	183,216	186,024	△ 2,807	197,792	203,648	△ 5,855
合 計		1,493,378	1,469,297	24,081	1,570,011	1,530,534	39,477

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

預り資産残高の推移

(単位：百万円)

	平成27年9月期	平成28年9月期	増減
投 資 信 託	31,950	40,705	8,754
外貨預金(中信オープン外貨定期)	2,845	2,346	△ 498
公 共 債	28,164	19,203	△ 8,961
合 計	62,960	62,255	△ 705

- (注) 投資信託・外貨預金・公共債はそれぞれ期末の残高です。

貸出債権の開示

信用金庫では、金融再生法に基づく「金融再生法開示債権」と、信用金庫法に基づく「リスク管理債権」の開示が義務付けられています。金融再生法開示債権は債務保証見返など貸出金以外の債権も対象としているのに対し、リスク管理債権は貸出金のみを対象としているのが相違点です。

当金庫の金融再生法開示債権（正常債権を除く）に対する担保・保証・引当金を合わせた保全率は90.51%となっており、引き続き十分な引当水準となっています。十分な引当を行い経営の健全性を確保しつつ、地域の発展・支援に貢献することが当金庫の使命であると考えております。

I. 平成28年9月期における自己査定と開示債権の状況(単体ベース)

(単位：億円)

自己査定						金融再生法による開示		リスク管理債権	
	総与信	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先	18	6	11	—	0	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	67	破綻先債権	18
実質破綻先	49	4	27	—	17	危険債権	588	延滞債権	636
破綻懸念先	588	228	227	132		要管理債権	39	3カ月以上延滞債権	—
要注意先	3,509	1,022	2,486			小計	696	貸出条件緩和債権	39
正常先	20,056	20,056				正常債権	23,532	合計	694
合計	24,221					合計	24,228		

※ 上記開示額は、平成28年9月末を基準日として自己査定を行い、この結果に基づき算出しています。

同年4月1日から9月末までに倒産・不渡り等、及び業況悪化により債務者区分の引下げがあった債務者についてすべて開示しています。

※ 上半期での必要償却・引当額は、9月末時点の債権残高にて算出しています。

ただし、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分（＝Ⅳ分類）を直接償却し減額して開示しています。

（Ⅳ分類・直接償却相当額は2億円です。）

※ 「金融再生法による開示」には当金庫が保証する私募債の額を含んでいます。

II. 金融再生法による開示債権と保全の状況

(単位：億円)

区 分	開示残高(A)	担保・保証による回収見込み額(B)	平成28年9月期引当金残高(C)	担保・保証(B)+引当金(C)=保全額(D)	保全率(D)/(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	67	50	17	67	100.00%
危険債権	588	455	78	534	90.80%
要管理債権	39	26	1	28	70.21%
小 計	696	532	97	630	90.51%
正常債権	23,532	19,207	40	19,247	81.79%
合 計	24,228	19,739	138	19,877	82.04%

$$\text{金融再生法開示債権(正常債権を除く)保全率} = \frac{\text{保全額 } 630\text{億円}}{\text{債権額 } 696\text{億円}} = 90.51\%$$

※ 保全率は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

III. 平成27年9月期との金融再生法開示債権比較

(単位：億円)

金融再生法による開示残高	平成27年9月期	構成比	平成28年9月期	構成比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	80	0.34%	67	0.28%
危険債権	868	3.73%	588	2.43%
要管理債権	48	0.21%	39	0.16%
小 計	997	4.28%	696	2.87%
正常債権	22,306	95.72%	23,532	97.13%
合 計	23,304	100.00%	24,228	100.00%

※ 構成比は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

自己資本比率の状況について〈単体〉

●単体自己資本比率(バーゼルⅢ国内基準)

平成28年9月期の自己資本比率は、内部留保額を順調に積み上げたものの、リスク・アセット等が増加したこと等から、前年同期比0.50ポイント低下の11.00%となりましたが、金融機関の健全性を示す基準となる水準(国内基準4%)を大きく上回っております。

(単位：百万円)

項目		平成27年9月期	平成28年9月期	増減	
コア資本に係る 基礎項目 (イ)	普通出資に係る会員勘定の額	221,640	231,154	9,514	
	うち、出資金の額	21,280	21,053	△ 226	
	うち、利益剰余金の額	200,359	210,100	9,741	
	一般貸倒引当金の額	3,240	4,197	956	
	適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	6,006	－	△ 6,006	
	土地再評価差額の45%相当額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	5,211	4,631	△ 579	
	(イ)	236,099	239,983	3,884	
コア資本に係る 調整項目 (ロ)	無形固定資産の額	494	875	381	
	(ロ)	494	875	381	
自己資本の額 (ハ)		(イ)－(ロ)	235,604	239,108	3,503
リスク・アセット等 (ニ)	信用リスク・アセットの額	1,956,707	2,082,211	125,504	
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	91,748	90,893	△ 855	
	(ニ)	2,048,455	2,173,104	124,648	
単体自己資本比率	$\frac{(ハ)}{(ニ)}$	11.50%	11.00%	△ 0.50%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。



京都中央信用金庫

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地

TEL (075) 223-2525 (代) TEL 0120-201-959 (フリーダイヤル 平日9:00~17:00 当金庫営業エリアのみ)

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

インターネットホームページアドレス <http://www.chushin.co.jp/>

ON YOUR SIDE REPORT 表紙使用写真

ON: 貴船神社 秋海棠 YOUR: 広沢池 秋桜 SIDE: 嵐山花灯路 竹林の小径 REPORT: 天龍寺 庭園の紅葉

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この報告書は環境に
配慮し、植物油インキを
使用しています。

2016年11月